

JLCC 授業シラバス

講義コード	JL206
講義科目名	日本映像文化論 B
開講年度	2020 年度
開講学期	春～夏学期
曜日時限	
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	大神 智春
使用言語	日本語
教室	
授業概要・目標	<p>映画の中の世界は現実と虚構・創作が混じり合っている。描き出されている現実はその時代や社会・価値観が再現されたものである。また、虚構・創作といってもその虚構・創作が作られる背景にはその国の文化や価値観、時代が影響していることが多い。</p> <p>この授業では個々の映画にはどのような文化や価値観、社会観が背景としてあるのかを考察する。そして授業で扱う映画全体を通して映画から捉えることができる日本人、日本文化と社会、日本語について自分なりの考えを深める。視聴対象とする映画は戦後～現代の社会を扱ったもので、ある程度日本でヒットしたものとする。</p>
授業形態	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 4本の映画を前半後半に分けて鑑賞。事前に見る映画についてのレクチャーを行う。</li> <li>2. クラスで同じ映画を一緒に視聴し、お互い感じ方が共通する部分、各自感じ方が異なる部分などを知る。</li> <li>3. 映画視聴後、あらすじをクラスで確認する。学生はワークシートを提出する。提出されたシートの内容をもとに、疑問点や考え方の違いについてクラスで話し合う。</li> <li>4. 4本の映画の担当グループを決め、映画を見た次の授業で調べたことを発表しクラスで討論する。宿題としてその映画の感想シートを提出する。</li> </ol>
履修に関わる注意事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 担当グループでの発表は必須とする。</li> <li>2. 欠席して映画が見られなかった場合は、自分でその映画を見て、次の授業に参加すること。</li> <li>3. 提出物は、必ず提出すること。</li> </ol>
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 今期見る映画の紹介。担当映画を決める。</p> <p>第2回 映画①「少年時代」前半</p> <p>第3回 映画①「少年時代」後半</p> <p>第4回 ①グループ発表、クラス討論</p> <p>第5回 映画②「ディア・ドクター」前半</p>

	第6回 映画②「ディア・ドクター」後半 第7回 ②グループ発表、クラス討論 第8回 映画③「おくりびと」前半 第9回 映画③「おくりびと」後半 第10回 ③グループ発表、クラス討論 第11回 映画④「それでもボクはやってない」前半 第12回 映画④「それでもボクはやってない」後半 第13回 ④グループ発表、クラス討論 第14回 映画⑤ 学生が決めた映画 前半 第15回 映画⑤ 学生が決めた映画 後半、まとめ
テキスト	プリント配布
参考書	なし
成績評価	最終レポート 30%      ワークシート・感想シート 30% 発表 20%      授業態度 20%
学習相談	グループ発表の前の授業後にアドバイスをする。その他の相談はリクエストに応じて対応する。
その他 (自由記述欄)	視聴映画を変更することもあります。